

職員による自己評価

**A 環境面**

- ・スペースがやや狭いため、遊びの時には机を移動するなどしてスペースを確保している。
- ・ドアのストッパーは足をぶつける可能性があったため。除去した。

**B 業務改善**

- ・昨年度に比べ、ブログや会報の回数を上げた。
- ・社員研修は充実している。

**C 適切な支援の提供**

- ・「みんなで遊ぶ週間」を作り、集団で遊ぶ機会を作っている。長期休暇中は利用時間が長い。
- ・児童の情報共有は、日誌や口頭などで行っている。

**D 関係機関との連携**

- ・青葉区自立支援協議会などには参加をしており、市発達支援センターや市が主催している研修にも参加している。

**E 保護者への説明責任・信頼関係**

- ・活動報告確認システムなどで日々の記録は共有しているが、確認の率は低い様子が伺える。
- ・送り迎え時などを通じて情報共有をしている。

**F 非常対応**

- ・避難訓練は年に 2 回行っている。
- ・鍵の施錠をするなど防犯対策を行っている。

保護者による評価

**A 環境面**

- ・体を動かしたい子にはやや狭いかもしれない。
- ・ドアが開き戸ではないためバリアフリーではない。

**B 児童への支援内容**

- ・「活動のプログラムが固定されていないか」という質問に対して「どちらでもない」という回答がやや多かった。

**C 事業所からの情報発信**

- ・保護者会については「いいえ」の数が多かったが、一方で「保護者会を開いてほしい」という意見もあった。
- ・「児童の情報共有が出来ているか」などの質問に対しては、すべての人が「はい」と答えていた。

**D 非常対応**

- ・防犯が強化されて良いと思う。

**E 満足度**

- ・子供はずっと通い続けると言っており、自分で登校の準備をしている。
- ・先生も優しく対応してくれ毎週楽しみにしている。
- ・活動報告確認システムのログインが不便。
- ・日々の子供たちの様子をよく察知してくれる。
- ・時間変更や急なキャンセルにも快く対応してくれ、感謝している。

事業所内での分析

**【共通点】**

- ・体を動かすことが好きな児童に対しては、スペースがやや狭い。
- ・活動のプログラムの固定されている面もすこしある。
- ・メールや送迎時等で支援内容や情報共有が共有できている。
- ・防犯対策は強化された。

**【相違点】**

- ・保護者会の有無に関しては「不必要」「どちらでもいい」という意見が多数だった。
- ・活動報告確認システムへのログインが不便。

## 分析・検討してみたて…

### 事業所の強み

- ・職員間で児童の状態や勉強の進み具合、療育の様子を共有しているため、ムラのない支援を提供している。
- ・保護者とは、メールや送迎時等で児童に関する情報共有を密にとれている。
- ・施錠してインターホンを設置したことにより防犯面の強化は出来ている。
- ・避難訓練は年に2回行っている。全ての児童が1年に一回は参加できるよう調整をしている。

### 事業所の改善点

- ・プログラムの固定化は「どちらでもない」という意見も少しあった。
- ・HUGのログインが不便という意見が聞かれた。
- ・教室内のスペースが狭いため、体を動かしたい児童にとってはやや狭く感じる可能性がある。

### 事業所の改善への取り組み

- ・プログラムを固定化しないため、長期休校日には公園に遊びに行くことやスライム作成など行い、長期休校日だからこそできる療育を検討していく。
- ・ログインを簡単にするため、活動報告確認システムのパスワードの変更の仕方を保護者の方へ周知していく。(今は希望者のお伝えしているが、すべての人に周知できるようお便りなどでお知らせしていく)
- ・教室内のスペースに関しては、生活導線を確保して不便がないようにしていく。また、遊びの時には引き続き機の移動を行い安全に過ごせるように配慮する。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

昨年度よりもより多くの方にご利用いただけるようになり、大変うれしく思います。

昨年度「ブログやおたよりの回数が少ない」ということを受けブログやお便りの回数を増やした結果、今回は「はい」という票が多数でした。

今後も、保護者の皆様やお子様のお話に耳を傾け、質のいい支援を提供できるように努めてまいります。

事業所名 オレンジスクール青葉台教室

担当者 小川 沙織

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：オレンジスクール青葉台教室

保護者数（児童数）：（52） 回収数：35 割合：67%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	8	1	2	・活動中に様子を見ていないためからない ・体を動かしたい子どもにはやや狭いように思う ・もう少し広いスペースがあればいいと思う	・遊びの時には療育スペースの確保をしているが、今後も引き続き行っていく
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	31	4	0	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	17	0	0	・活動中に様子を見ていないためからない ・注意していなかったので確認していない ・ドアが開き戸なのでバリアフリーではないが、防犯上はいいと思う	・ドアを開閉することに不便を感じる場面があった際には、職員がサポートをしていく
適切な 支援 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	34	1	0	0		
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	28	6	1	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	15	13	2	・年に2・3回なら	・現在は公園に行ったときなどに、公園に来ている子どもたちと交流する場面もあるため、引き続き状況を見ながら行っていく
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35	0	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	35	0	0	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	3	0	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	11	17	0	・保護者会など情報交換できる機会が欲しい	・「必要ない」という回答も多かったため、慎重に検討していく
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	5	0	0	・今まで苦情などはなかったようなので分からない。	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	35	0	0	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	31	4	0	0		
非常時 等の 対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	32	3	0	0		
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30	5	0	0	・防犯について強化され良いと思う	・現在は、常に鍵を閉めインターホンをつけ対応しているため、今後も対応を続けていく
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	35	0	0	0		

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	25	6	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ずっと通い続けると言っている。自分で通う準備をしてお楽しみしている</li> <li>・先生たちも優しく対応してくれ毎週楽しみにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の子どもの様子を把握し、その時々にあった勉強と療育の支援を引き続き行っていく</li> </ul>
	⑱	事業所の支援に満足しているか	27	5	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間変更等にも快く対応してくれ感謝している</li> <li>・子供の様子をよく察知してくれる</li> <li>・活動記録を確認するのにログインするのが不便である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働いているご家庭などもあるため、時間変更には今後も臨機応変に対応していく</li> <li>・新システムのログインについては、今後パスワード変更できるということを周知していく</li> </ul>

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：オレンジスクール青葉台教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・法令を遵守しています。 ・体を動かすことの好きなお子様にはやや狭いと思うため、遊びの時には机を動かしてスペースを確保しています。	・今後も継続していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・法令を遵守しています。	・今後も継続していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・ドアのストッパーに足をぶつけるお子様がいたためストッパーを除去して対応しました。	・今後も室内の点検を行っていき、バリアフリーの配慮が出来るようにしていきます。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・日誌などで個別支援計画やモニタリングなどの情報を共有しています。	・今後も継続していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・昨年度の保護者様のアンケートの結果を受け、ブログ、お便りなどの頻度を上げました。	・今後も継続していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページ上にて公開しています。	・今後も継続していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・事業所内でも実地指導を行っており、評価結果を業務改善につなげています。	・今後も継続していきます。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・社内研修は充実しており、希望時には出来るだけ参加できるようにしています。	・今後も継続していきます。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・日々の活動報告やご連絡などを踏まえ、職員同士で話し合い、個別支援計画やモニタリングを作成しています。	・今後も継続していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・アセスメントシートは事業所内で統一したものを使用しています。	・今後も継続していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員全体で行っています。	・今後も継続していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			・「みんなで遊ぶ週間」では、遊びの内容がかぶらないように配慮しています。 ・季節に応じた工作をしています。	・今後も継続していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・個別支援計画をもとに活動内容を検討して実施しています。 ・長期休暇中は利用時間が長いお子様が多いので、その中でできる課題を探しています。	・長期休暇中だからこそ行える課題を職員間で話し合い、支援を提供できるようにしていきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・「みんなで遊ぶ週間」と「自分の好きな遊びをする週間」を分けて対応しています。	・今後も継続していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・事業所職員全体で行っています。	・今後も継続していきます。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後にその日行われた支援を振り返り、次の日以降に日誌や口頭で情報を共有をしています。	・今後も継続していきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日誌に特記として記入をしています。 ・記録の内容は職員間で確認し合い、正しい記録となるようにしています。	・今後も継続していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・規定に従い半年に一度のペースで行っています。 その他の期間でも、個別支援計画の変更が必要な場合には、その都度更新をしています。	・今後も継続していきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・個別支援計画を元に、活動内容などを検討、設定したうえで支援を行っています。	・今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	・相談事業所を利用しているお子様が、現在実施しておりません。	・今後も相談事業所を利用するお子様が入会した際には、職員で話し合い誰が参画するか決めます。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			○	・小学校から要請があれば行っています。 ・送迎を行っていないので、お母様を通じて情報を共有しています。	・今後も継続していきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・医療職職員を配置していないので、利用については事前に主治医、保護者様と相談させていただいています。 ・また、てんかんやアレルギーがあるお子様に対しては、病院名や主治医の指示をお母様を通じて聞いています。	・今後も継続していきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・ご家族経由で情報共有を行っています。	・今後も継続していきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	・ご家族経由で情報共有を行っています。	・今後も継続していきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・区役所や発達支援センターが主催している研修に参加し、日々の支援につなげています。	・今後も継続していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・公園に遊びに行った際に、地元のお子様と関わる機会がありますが、ほぼない状況です。 ・個人情報の観点からこちらから積極的に行えていない状況です。	・今後も状況に応じて検討、実施を行っていきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			・青葉区協議会に定期的に参加しています	・今後も継続していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送り迎えに来た時などに本日の出来事を共有しています。 ・新システムで活動記録を公開していますが、忙しさから確認できていないご家庭もある状況です。	・新システムのパスワードが長く、ログインが大変なご家庭もあるかと思うので、パスワード変更が出来ることを周知していきます。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・現在実施しておりません。	・面談の際に、お困りごとなどに対してお話をさせていただいております。ペアレントトレーニングに関しては、今後も検討していきます。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・ご利用の際に説明をしています。また、教室内にも掲示しています。	・今後も継続していきます。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・面談やモニタリングの際にお話をさせていただいております。	・今後も継続していきます。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現在実施しておりません。	・ご家族の要望を踏まえ、今後検討していきたいと思えます。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・マニュアルを作成し教室内に掲示しています。また、ご家庭からの希望などについては真摯に対応しています。	・今後も継続していきます。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・ブログ、おたより、グーグルビジネスを定期的に更新しています。	・今後も継続していきます。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報に関しては、鍵付きの棚にて保管をしています。	・今後も継続していきます。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・児童の特性を配慮した情報伝達手段を使用できるように日々心掛けています。	・今後も継続していきます。
非常時等の対応	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・現在実施しておりません。	・ご家庭のニーズに合わせて検討していきます。
	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・教室に掲示し、多くの方に共有できるように対応しています。	・今後も継続していきます。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・春休みと夏休みに避難訓練を実施しており、出来る限り全児童が参加できるようにしています。	・今後も継続していきます。
	㊲	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・事業所内でマニュアルを作成し、定期的に研修を行っています。	・今後も継続していきます。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・契約の際に身体拘束に関する事項を説明し、書類にご署名をいただいています。	・今後も継続していきます。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・食事やおやつ提供はしていません。 ・対応については、保護者経由で共有しています。	・今後も継続していきます。
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・日誌にヒヤリハットを記入して共有しています。 ・ヒヤリハットが起きた時には、繰り返し発生しないための話し合いを行い、迅速に対応しております。	・今後も継続していきます。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。